

十年後の守谷とわたしのお父さん

黒内小四年 門脇 遥

わたしのお父さんが守谷に引っこしてきたのは、今のわたしと同じ十オくらいの時で今から三十年前だったそうです。その時は家も少なく、お店もそんなになく、今ではあたり前のけいたい電話もなかったと聞きました。

十年、二十年、三十年でいろいろ変化してきた守谷。

守谷市になつてからは、「Ｔ×も走るようになつて住みやすくなつたせいかな人も家もふえてきたね」とお父さんは言っていました。

十年後、わたしは二十オ。未来の守谷はどうなっているのか？みんながスマートフォンを持っていてるようになるのかな？想をうもつかないけど、守谷にもデイズニールンドのようなみんなが笑顔になれるゆめの国ができるといいな。今はちょっと遠くてなかなか行けないけど、守谷にそういう場所ができたら、行きたい時に行けるから……。でも、わ

コクヨ ケー10 20×20

たしにはゆうえんちよりもできてほしいものがあります。それは、どんな病気でもなおせる大きな病院です。

理由は、昨年十一月にお父さんが心そうの病気で三週間ちよつと入院しました。突然だったのでびっくりしたし、すぐ心配しました。お父さんの病気は、ずつと薬を飲まないといけないうし、ごはんもみんなとちがうごはんを食べなくてはいけません。もし今よりも悪くなつていたら、手じゃつをしないといけないそうです。でも今の守谷の病院では手じゃつができないみたいで、遠くの病院に行くしかないようです。

十年後、お父さんには元気でいてほしいけど、守谷には他にも病気を苦しんでいる人たくさんいると思います。その人たちのためにも、十年後の守谷にどんな病気でもなおせて、みんなが健康になれる病院ができてほしいです。そしてわたしはその病院で働きたいと思います。前は何となくかんごきさんにな

コクヨ ケー10 20×20

りたい！と思っていただけ、お父さんの入院中、毎日ごはんを考えて作ってくれるえいよう士さん、薬をじゅんぴする薬ざい士さん、お世話をしてくれるかんど士さんを見て、どれかになりたいと思いました。十年後はそのために一生けんめい勉強していることでしょう。しょう来はお父さんや守谷の人たちの役に立てるようにがんばります！

最後に、中谷のために働いてくれている議員さん、市役所のおなさん、これから中谷

の明るい未来のために、よろしく願います。わたしたち市民一人一人の力は小さいけれど、みんなで協力すればきつと今よりももっと住みやすい街になると思います。

十年後も、守谷の人がみんな元気で笑顔でいられる街でありますように！がんばろう
守谷！